

結婚式場のキャンセル料

相談事例

1年半後の挙式のため、結婚式場を探しに出かけた。最初に行った式場で「今日申し込みめば、約300万円の総費用が約230万円になる」と提示された。「一晩考えたい」と言ったが、「今日でなければだめだ」と言われ、契約することにした。申込金としてその場で20万円をクレジットカードで決済した。その後、他の式場も回り、別のところに決めたため、最初に契約した式場にキャンセル料を申し出た。担当者には「キャンセル料は、申し込み当日から申込金の100%という規定なので、申込金は返還しない」と言われた。申込金を返して欲しい。(20歳代 男性)

解説

キャンセル料が発生した場合には、内訳を確認しましょう。消費者契約法9条1号に「契約の解除に伴い事業者に生じる平均的な損害の額を超える金額を徴収する内容のキャンセル料条項は、その超える部分について無効である」と定められています。実際に無効にできるかどうかは、個別の事実と判断になります。

対策

- ① 契約を急がされても、その場でサインをしたり申込金を支払ったりせず、持ち帰って検討する。
- ② 「式場を押さえるため」で契約成立となるのか、キャンセルした場合返金されるのかなど確認する。
- ③ 契約の成立時期、キャンセル料の発生時期・金額の確認をする。

アドバイス

結婚式の契約は、担当者のセールストークや式場の雰囲気にも飲まれて、気分が盛り上がり契約に至るケースがあります。安易に契約をせず、他の式場と比較して、キャンセルすると、どのくらいかかるかなど契約内容を確認し、納得して契約をしましょう。

結婚式は当事者だけでなく親戚、知人などが出席します。日時の変更などもありえますので、担当者としてかなり意思疎通を図り、追加料金などその都度見積もりを出し直してもらい確認しましょう。

問い合わせ先

市消費生活センター
(合志庁舎2階 総務課内)
☎(248)5442

相談受付時間

平日 午前10時～午後4時

児童館 だより

児童館は、児童に健全な遊び場・機会を提供し、子どもが心身ともに豊かな発達ができるように支援するところです。行事の詳しい内容は各児童館にお問い合わせください。なお、合志市子育てサイトに各児童館だよりを掲載しています。

合志市子育てサイト
http://kosodate.city.koshi.lg.jp/

※お金やゲーム機など貴重品は持ってこないように、また、持たせないようにしてください。

東児童館 ☎248-5203

開館時間／午前8時30分～正午
午後1時～5時 (10月～5月)
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

アイロンビーズでマグネットをつくろう

- とき 3月31日(土) 午後1時30分～4時
- 対象 誰でも参加できます (幼児は保護者同伴)
- 定員 20人程度

- 参加費 無料
 - 内容 アイロンビーズで素敵なマグネットを作ります。
- ※申し込みは不要。

泉ヶ丘市民センター児童館 ☎248-3453

開館時間／午前8時30分～正午
午後1時～5時 (10月～5月)
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

彫金をやってみよう(浮き出し彫刻板)

- とき 3月24日(土) 午前10時～正午
- 対象 小・中学生
- 定員 10人
- 参加費 無料
- 内容 アルミの板にイラストをのせ、線になぞって釘をうちつけていきます。凸凹ができ、本物の彫金のような体験ができます。
- 申込開始 3月10日(土) 午前10時～
電話または児童館窓口で申し込み



見本は児童館に見に来てね

西児童館 (ふれあい館内) ☎242-7008

開館時間／午前8時30分～午後5時15分
(日曜日は午前9時～午後5時15分)
休館日／第4月曜日、祝日

出張児童館『けん玉に挑戦!』

- とき 3月29日(休) 午後1時30分～4時
- 場所 合生文化会館
- 対象 5歳～高校生 (幼児は保護者同伴)
- 定員 20人程度
- 参加費 無料
- 内容 けん玉協会から講師を迎え、けん玉の技を習います。認定も無料で受けることができます。

※けん玉に興味のある大人のボランティア募集中!
申し込み受付中 (電話での申し込み可)

春を感じよう『たけのこ掘りツアー!』

- とき 4月7日(土) 午前1時30分～3時30分
雨天中止
- 場所 竹迫城跡公園近くの竹山 (上庄地区)
- 対象 小学生以上の子がいる家族 (幼児の兄弟は同伴可)
- 定員 10組程度
- 参加費 1人100円
- 内容 公園駐車場に集合し、現地まで歩いて行き、たけのこを掘ります。
- 持ってくるもの 汚れてもいい服装、軍手、長靴、飲み物
- 申込開始 3月15日(休) 午前9時～
ふれあい館窓口または電話で申し込み可。

こうし歴史発見

第64回

合志市内の記念碑⑨
鉄砲射場跡

今回紹介する記念碑は、黒石駅そばにある「鉄砲射場跡」の碑です。ここは江戸時代に武士の射撃の稽古の場で、土を2m程饅頭型に積み上げた弾止めがあり、そこに的を置いて30m程離れたところから実弾を発射していた跡です。

なぜ、黒石の地にこのような鉄砲射場があったのでしょうか。菊陽町の「鉄砲小路」は有名ですが、寛永13(1636)年肥後藩主細川忠利公が、豊後街道と菊池往還の間に地筒(鉄砲隊)の配置を指示し、黒石にも地筒36人が配置されます。(その他に兎谷・麻生田・花立・楡木の地にも地筒が配置され、これを「五カ所地筒」といいます)地筒は月に5日ほど熊本城に行き業務に服し、平時は農耕・開墾に従事しながら鉄砲の射撃訓練をしました。また、事有

黒石組36人が入植した
当時そのまの
屋敷配置図



るときは徴用され、天草・島原の乱にも出兵しています。
この武士の錬磨の跡も大正14(1925)年に解体されましたが、昭和60年に黒石建村350年を記念してこの碑が建てられました。
※現在は私有地です。見学の際はご注意ください。